

さくら

題字 足立区長

足立区民生・児童委員協議会だより

発行
足立区民生・児童委員協議会
連合会長 中田 貢弘
編集 広報部会
発行日 2003年7月1日
〒120-0851
足立区中央本町1-17-1



千寿小5年 リー海渡 作

目次

専門部会 だより	2.3
合同・地区 だより	4.5
合同・地区 だより	6.7
民児協便り 編集後記	8

東京都における活動紹介



第56回東京都民生委員・児童委員大会で受賞者160名を代表して謝辞を述べる瀬田会長（7地区）。14年11月12日文京シビックホールにて。



平成14年度第2回東京都民生児童委員連合会協議員総会で議長団を務める中村会長（江南新田地区）。15年3月19日東京都児童会館にて。

専門部会

介護相談部会

介護相談部会は、急速に進む高齢化社会の中で、昨年足立区に初めて設立された部会です。グループホームとは、一般に中程度の痴呆の方が利用できる民営の生活の場ですが、介護保険の対象になって以降急増しているのが現状です。最近3ヶ所の施設を訪問し入所者とスタッフ

の方にお話をする機会を得ましたが、ご家族の要望で入所されたと伺い、悲しい気持ちになりました。でもご本人達が明るく過ごされていたので、救われた思いがしました。

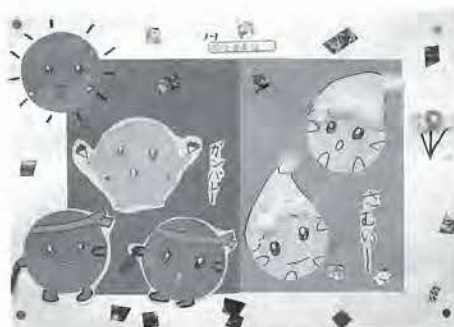
(坂上千恵子 記)



千寿小5年 飯島亜依 作

児童福祉研究部会

「児童生徒の健全育成」をテーマに、主任児童委員、地域会長、児童相談所、保育園、小・中学校と研修を重ねた。一人親家庭で子ども虐待が増えている現状だが、何故可愛い我が子を虐待するのか。虐待する親の一番の問題点や原因を見つけ、心のケ



長門小3年 羽住英美瑠 作

アと日常生活の安定を支えることが大切である。先日、通り魔事件で寂しい主婦の狂言が世間を騒がせた。行動を起こす前に、民生児童委員に相談し、解決策をつかんでほしいと思う。

(近藤悦子 記)

障害者福祉研究部会

昨年度は、「障害者への理解を深めるために」というテーマを掲げ、講師をお招きしてご講義を頂きました。精神障害、身体障害、視聴覚障害と各障害の理解、対応方法、また福祉制度の概要等の勉強をさせて頂き、障害をお持ちの方にとっては、機能的障害よりも社会的不利益が

大きいとお感じになられていることを認識いたしました。最後の部会につきましては、反省及び事例報告を行い、研修のまとめといたしました。

(山谷久生 記)



千三小3年 田口りょう 作



長門小3年 宅石彩乃 作

生活福祉研究部会

本年度の研究課題は「社会福祉の基本、基礎を学ぶ」に設定しました。急激な社会の変動により制度や仕組が変わる中で、民生委員の執るべき姿につき部会員全員の討議となりました。こうした変化から取り残された人々を地域の中から発見し共生してゆくということが大切です。それには、ま

ず委員自らが地域のサポート役であることを認識し、制度や仕組を理解し、社会に還元してゆくことであります。区の福祉行政の専門知識をもった職員にお願いし、現在勉強中であります。

(柿崎征一 記)

高齢者福祉研究部会

部会員25名、自己紹介に始まり「高齢者に関する福祉の状況を把握する」をテーマに施設見学研修講演会・高齢者に関する勉強会・次年度の計画と年4回の研修を行った。

〈感想〉急速に増加する高齢化率、平成10年に13.5%でしたが10年後には、約倍

の25%になると考えられる。また、特別養護老人ホームには1年以上待たないと入所することができないといわれる。多くの課題はあるが研修を重ねて見聞を広め民生活動に役立てたいと思う。

(幸田吉水 記)



中川北小5年 入澤加奈 作

主任児童委員部会

私達は増加している児童の虐待や学校でのイジメ・不登校といった児童の諸問題について、父母や児童・学校等からの相談を受けています。その問題を解決に結びつけるには、各関係機関とどのような連携をとるかということが大事になります。そ



れで、各委員の資質向上を目指し、個別案件の事例研究を特に重視しております。各委員の抱えるものは、どの地区でも起こりうる問題でありますので、全員が対処できるよう今後とも研鑽してまいります。

(小泉貞廣 記)

広報部会

住民が相談を思い立ったときにあなたの顔を思い浮かべてもらえますか？(都民連だより・平成14年7月号)

支援を必要とする住民に対する、民生・児童委員の誠意と協力する姿勢を知ってもらうために、広報部会

が発足しました。民生・児童委員として、地域行事に参加活動した成果の記録発表に尽力します。冒頭の文を大切に受け入れて、広報誌「さくら」発行の作業を、25人の力を集めて全うしたいと思います。

(渡辺正勝 記)



長門小2年 みずしままどか 作

さくらにゆーす

旭町商店街のストリートアート

商店街の通りで子どもから大人まで長いロール紙の上でみんなが絵の具などでアートするイベントです。子どもたちは体で表現したり大喜びです。

これは教育委員会や多数の民生委員の後援を受けて地域・町会・小学校・中学校・各学校・商店街

が一体になって行うお祭りのようなものです。地域ボランティア・十六中の学生ボランティアや常東小学校の先生方も参加し、本年は6月15日に行われました。

(宮本勝男 記)





合同・地区だより

第一合同 5地区

荒川河川敷や公園、小学校のある所で共同生活をしているグループホーム「すずめのお宿」に、4月15日小雨降るなか福祉事務所の所長さんも一緒に行きました。皆さん初めての見学なので介護支援の方々にお会いし2組に別れて説明を受けまし



た。入居者のリズムで生活ができ、洗濯、掃除、炊事等、職員と協力して行い地域の方との交流も積極的に参加。このような生活をしていれば痴呆も進まないと思いました。

(柳下咲登子 記)

第二合同 19地区

国際情勢の不安もさることながら、日本の現状は長期にわたる経済不況が続き、構造改革や景気浮揚対策、金融対策の打開策がとられております。しかしながら、依然として、景気回復の兆しは見られず、少子高齢化社会はますます進んで将来に不安が感じられる昨今です。こうした状況のなかで、私たち民生児童委

員は厳しい環境を切り開くため研修に研修をかさね、不断の自助努力により責任と自覚を持って高齢化社会の色々な問題点を、実践により乗り越えていくことが大事であると再認識しました。

(鳥海和人 記)



千三小3年 さぎあゆか 作

第三合同 6地区

自主研修は今回、川治温泉「宿屋伝七」で行いました。到着後直ちに会長を中心として勉強会を開き、活動記録報告、専門部会の活動報告及び現況報告等を行い、問題点について十分時間をかけて話し合いをし



した。桜の花の満開の中で行った研修旅行は、委員同士の信頼関係と親睦を一層深めることができ、有意義な研修でした。

(野寺保治 記)

第三合同 10地区

4月16日に、10地区の協議会が催され、昨年の活動報告や日頃の問題点など、多くの議題が取り上げられました。事例報告では、高齢者の緊急通報システム導入の急増が指摘され、協力員としての民生委員の責任の重さを痛感させられました。また、

生活保護申請も増えており、安易に保護に頼るケースも少なくありません。特に若年層の申請の多いことが、今後の問題点として考えられると思います。

(川島恵美子 記)





第三合同 11地区

平成15年度4月期の地区別自主研修を去る4月16日(水)午後1時30分から婦人総合センター3F会議室において行いました。講師は中部福祉事務所の高野竜一保護第四係長に依頼し、管内の生活保護の現況について、分かりやすくお話しいただきました。そして各部会の活動内容発表、



活動記録記入要領の確認等を行い、最後に足立区障害福祉センター「あしすと」の中川秋美所長より開設にあたっての紹介がありました。

(入澤むつみ 記)

第四合同 8地区

去る4月16日(水)午後6時より本木南町会館において8地区全員の民生委員と行政より清水民生係長、近藤主査、向山主事の出席を得て自主研修を実施しました。冒頭、矢作会長の挨拶に始まり早速係長より本題の「活動記録の記入に関する研修」

に入り、昨年度より変更のあった箇所等記入上の詳細にわたる説明と解説をいただき、質疑応答のあと大変有意義な研修を終了することが出来ました。

(辻 康匡 記)



第四合同 9地区

青少年センターにおいて、自主研修を開いた。「生活保護の現状について」と題して、中部福祉事務所所長の中村敏夫氏と西部福祉事務所所長の久野永一朗氏をお迎えした。お忙しいなか、資料をもとに細かな説明を受けた。今月は人事異動と経済状況から、事務所は混雑、一人のケ

ースワーカーの受け持つ人数もふえ、生活に関する相談件数が急増中とのこと。質疑応答も、私達の受け持つ事例を出し、時間一杯まで、有意義な研修であった。

(佐々木輝子 記)



長門小3年 浅沼咲子 作

第五合同 江南新田地区

4月12日(於：尾久熱海)。出席者は福祉部長、千住・西部福祉事務所所長他17名。テーマは「不登校の現状」であったが、統計的にも増加し学校と家庭で取り組んでいるが成果はあまりないとのこと。家庭環境も一因となることや支援センターの利用状況の報告があった。それを



中川北小4年 井田千晶 作

受けて、親と子の関係や子どもの心の変化に対して何ができるか討論。日頃の活動を振り返り、地域の現状を把握する必要があると痛感した。有意義な研修会であった。

(鈴木宏昌 記)



合同・地区だより

第五合同 鹿浜地区

新年度に入り、鹿浜地区の自主研修が全員出席で開催され、テーマは決めずに事例を話してもらい、そのことについていろいろな意見や考え方、反省、対処の方法等を話し合っていく形式で始まりました。「すこやか親子ルーム」の体験談、緊急通



中川北小4年 佐藤智彦 作

報の協力員の話、生活福祉資金利用者の話、介護研修のあり方など、いろいろ意見が出ていました。これからも肩に力を入れずに自然体で民生活動を行っていききたいと思います。

(斉藤清 記)

第六合同 浏江地区

介護相談部会は、今年度（14年度）初めて出来た部会で、都民連の横の繋がりがなく、流れ也没有せん。介護もまだ雲をつかむような感じで研修しているとのことでした。各部会の研修も、いろいろな体験で、心うたれることやなんとかしてあげた

い、してあげなければという思いは皆さん同じだと思います。福祉に向きあって、パイプ役として頑張っている皆さんの姿勢が見うけられます。

(鈴木岑子 記)



第七合同 17地区

桜を愛する日本人の心を持って花畑・17地区合同の日帰り研修旅行「真原のさくらと桃源郷」へ前管理課長斉藤幸枝様に参加をお願いし「地域で健やかに暮らす」と題して車中講演していただきました。当日は季節外れの大雪のため高速道路が



通行止めとなり大渋滞し、目的地に行けず残念でしたが、時間と安全を考え途中大月にてUターンして帰ってきました。ここに参加いただきました皆様のご支援ご協力に敬意と感謝を申し上げます。

(遠山善吉 記)

第七合同 東栗原地区

自主研修の話題は、生活保護についての話が多くたくさんの意見が出された。Aさんからの電話によると体の不調で動けず三日間何も食べていないということでした。あまりにも状態が悪いので救急車を呼び入院したが、残っているお金はなかった。何回となく生保の話をしてきたが頑

張りたいと言っていたAさんも力尽きたようでした。入院時から生保を受け安心して治療をして貰っていたが、その後病状が悪化し1ヶ月後に亡くなりました。86歳でした。

(松木寿子 記)



第七合同 花畑地区

例年は花畑桜花亭にて満開の桜を眺めながら実施していた春の自主研修。今年は17地区と合同で日帰りバス旅行を計画しました。甲斐武田家ゆかりの新府城址では桃を、真原では桜が満開の甲斐路を散策する予定でしたが、当日は季節外れの雪。道路事情の悪化で予定地を踏むことができなかったものの、予想外の雪景

色は感慨深いものでした。同行していただいた前管理課長斉藤様に「地域で健やかに暮らす」と題してご講演を頂きました。渋滞によりトイレ休憩や食事時間が思うようにいかず、苦勞した面もありましたが、思い出深い旅行となりました。

(能星松子 記)



中川北小6年 寺嶋瞳 作

ご注意

みんせいかわらばん

悪徳商法を高齢者自身が防ぐには

江北4丁目団地五自治会あんしん連絡会は14年3月から、スタートしました。65歳以上の人口割合は、現在足立区で一番28%強です。

単身及び二人世帯の高齢者が多く、毎年何人かの孤独死や様々な生活の支障をきたしやすいことが、住民から提起されました。5月20日むつみ会集会所で、学習会「悪徳商法を高齢者自身が防ぐには」というテーマで学び合いました。25名の参加がありました。消費者センターの相談員・坂西先生のお話は入念な打ち合わせの効果もあり、具体的で実用的な内容でした。最近の被害は、勝手に商品を送りつけ代金を請求してくる被害が増えているそうです。ク

ーリングオフのハガキの書き方を全員で書きました。業者は、年金の入る15日



すぎの多めに口座から金額を引き落とした時期、布団が干してある部屋など狙うようです。困った時、不安になった時、専門家に相談するのはもちろんですが、近隣に相談して事なきを得た人もいました。みんなで安心してくらせる連絡会にしていきましょう。

地元の民生委員の参加をおまちしています。

悪徳業者に狙われた単身高齢者

先日の自主研修で次のような事例の発表がありました。高齢で痴呆の単身者が、悪徳業者に狙われ多額の金銭が銀行より引き出されました。しかし、権利擁護センター・支援センター・民生委員の連携で早急に対応し事なきを得たというものです。その後

財産は権利擁護センターで管理し、弁護人に後見を依頼し、支援センターより家事援助を受け、ヤクルトのおはよう訪問により現在様子を見ているとのことでした。



事務局紹介 (15年4月現在)

写真左奥より

笹 林	近 藤	向 山
主任主事	主 査	主任主事
紙 谷	石 川	清 水
福祉管理課長	福祉部長	係 長



民生・児童委員協議会からのお知らせ

日 程	会 議 名	場 所
7月18日（金）	会長協議会	区役所13階会議室
8月8日（金）	会長協議会	東武菜苑
8月22日（金）	全員研修 各専門部会活動報告 白木ゆう子さんのコンサート	区役所庁舎ホール
9月8日（月）	会長協議会	区役所13階会議室
9月9日（火）～ 12日（金）	合同協議会	区役所13階会議室
10月10日（金）	会長協議会	区役所13階会議室
10月28日（火）	食事会（民協全員）	東京會館
11月14日（金）	会長協議会	区役所12階会議室
11月17日（月）	東京都民生委員・児童委員大会	文京シビックホール
11月18日（火）～ 21日（金）	合同協議会	区役所13階会議室
12月12日（金）	会長協議会	区役所13階会議室

編集後記

2号発行に向け準備活動を進めるなかで、委員の校正力をつけるため、講師を迎え、正しい校正の仕方の研修を行いました。今後の作業に正確さを求める意味で、大変参考になりました。

また「さくら」創刊号、発刊の反省会を催し、好発進を確認し合い、大いに士気を高めました。広報部に皆様方のご意見、ご感想を是非お寄せ下さい。

（小菅 實 記）



北嶋昭夫	細井造	塩田博子	飯泉節子	武内啓友	森脇久仁	野辺陽子	大庫悦子	田中榮一	加藤喜代子	中島千代子	内藤久子	山崎勝子	大沢美穂	猪俣勝美	松本はな子	安藤順子	小菅 實	編集委員	宮本 勝一	山本 祥一	書記 道子	山崎 陽子	須田 陽子	会計 子子	渡辺 正勝	高野 季	副会長	平田 幹明	部長	広報部会
------	-----	------	------	------	------	------	------	------	-------	-------	------	------	------	------	-------	------	------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-----	-------	----	------